

(様式第2号)

福祉サービス第三者評価結果報告書

事業者名 有限会社ケアサービス研究所

評価実施期間 平成23年6月10日～8月10日

1 評価機関

名称	特定非営利活動法人 シルバーサービスネットワーク鹿児島
所在地	鹿児島市真砂町34番1号南光ビル303号

2 事業者情報

【平成23年6月20日現在】

事業所名称： デイサービスコスモス	サービス種別： 通所介護
開設年月日：平成15年6月30日	管理者氏名 家村 圭介
設置主体： 有限会社 ケアサービス研究所	代表取締役 柳川ケイ子
経営主体： 有限会社 ケアサービス研究所	代表取締役 柳川ケイ子
所在地：〒899-5544 鹿児島県始良市大山字小坂元69番	
連絡先電話番号：0995-67-8299	FAX番号：0995-66-4050
ホームページアドレス	E-mail sp398bd9@galaxy.ocn.ne.jp
基本理念 「やさしく、あたたかく、あなたの気持ちに寄り添います」 加齢や疾病により自立した生活が困難になった利用者に対して、その人らしい生活を継続させるため、食事・入浴・排泄・レクリエーション等の日常生活の世話、及び心身の機能訓練を行うことにより、安心と尊厳のある生活を、本人の意向を踏まえ、その有する機能に応じ可能な限り自立して営むことができるよう支援し、地域福祉の推進に寄与することを目的とする。 運営方針 1 当事業所において提供する通所介護は、介護保険法ならびに関係する厚生労働省令、告示の趣旨及び内容に沿ったものとする。 2 利用者の人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努めるとともに、利用者の自立およびその家族のニーズを的確に捉え、個別に通所介護計画を作成することにより、利用者が必要とする適切なサービスを提供する。	

- 3 利用者またはその家族に対し、サービスの内容および提供の方法について分かりやすく説明し、同意のもとで提供する。
- 4 適切な介護技術を持ってサービスを提供する
- 5 常に提供したサービスの質を管理・評価し、質の向上に努める。
- 6 居宅サービス計画に沿った、通所介護を提供する。

【利用者の状況】

定員	24名	利用者数	32名
----	-----	------	-----

【利用者の年齢階層、介護度】

年齢区分	要支援 1	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
～64歳			1				1
65～74歳				1	1	1	3
75～84歳		2	5	4	3	1	15
85～		4	1	3	5		13
計		6	7	8	9	2	32

【職員の状況】

職種	勤務区分				※常勤換算	※基準職員数	
	常勤(人)		非常勤(人)				
	専従	兼務	専従	兼務			
管理者	1				1	1	
生活相談員		5			1.8	1.3	
看護師 (機能訓練員)		3	2		2.4	1.3	
介護員		7		3	6.8	5.0	
前年度採用・退職の状況			採用	常勤	2人	非常勤	人
			退職	常勤	1人	非常勤	人
○常勤職員の当該法人での平均勤務年数						5.5年	
○直接処遇に当たる常勤職員の当該法人での平均勤務年数						4.8年	
○常勤職員の平均年齢						39歳	
○うち直接処遇に当たる職員の平均年齢						37歳	

3 評価の総評

◇特に評価の高い点

- ・ 田園と里山の風景が広がる場所に、有料老人ホームと併設して開設された通所介護事業所である。近くの畑で育てた野菜の収穫や昔ながらの団子作りなど、利用者にとって馴染みのある日常が営まれている。地元の方々との交流に加えて、民生委員会の学習会に出席したり婦人会で悩みを聴き相談を受けるなど、事業所の有する機能を積極的に地域に還元している。また、地区の福祉事業部に参画して高齢者宅の訪問を行っているほか、自治体のゴミ収集や墓掃除にも参加している。
- ・ 良質な介護サービスの提供のために必要とされる技術や知識について、上司アドバイスシートや新入職員評価表などにより把握して、計画的に研修を実施している。研修受講後はレポート提出とともに実技等の伝達講習を行っており、研修成果の評価・分析によりカリキュラムの見直しも行っている。
- ・ 独自の「バックグラウンドアセスメント」及び「フェースシート」を作成して、利用者の個別性の把握に努めている。また、計画策定の総括責任者を定めており、個別ニーズに合わせたサービス実施計画を策定し、項目別にチェックして実施確認ができるように経過記録の様式を工夫している。

◇今後期待したい点

- ・ 標準的な実施方法（マニュアル等）については、変更の必要が生じた場合に「マニュアル作成用紙」を活用して見直しているが、今後は一定期間ごとに見直しを実施することで、サービスの質に関する検討が継続的に行われることを期待したい。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

通所介護として自主的に外部評価を受審することで、職員だけでは日頃見落としがちな課題を有意義に見出すことができた。評価内容は繊細且つ多岐にわたり、貴評価事業所が利用者様の介護サービスについて日頃から丁寧に熟慮されていることに感激している。当事業所が一丸となって理念をもとに、利用者様に対して尊厳と熱意を持って接していることにご理解頂き、更に職員が自己研鑽し、生き甲斐を持ってケアに取り組んでいることに賞賛と励ましを頂いた。審査を受ける中で、同じ福祉を目指す仲間として心強く感じ、共感を得え、意欲を引き出してもらえる審査であった。

頂いたご助言の具体的内容としては、当事業所としては「既存のマニュアル改訂と定期的見直しの計画」等についてご助言頂き、即座に職員で話し合いを持ち、改善したところである。

現時点における介護サービスおよび事業計画に満足して留まるのではなく、更なる質の高いサービス、体制をとるためのご示唆を頂き、多様化・高度化するニーズに今後も対応していきたい。また それぞれの思いだけに流されない本来的な利用者様主体の介護ケアを提供するためにも、この貴重な評価受審をもとに研鑽していきたい。

5 評価結果(別紙)

6 利用者調査の結果(別紙)

7 事業者の自己評価結果(別紙)